

# 平成26年度県立北部農林高等学校学校評議員の報告

## 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成26年7月17日 16:00～	場所	北部農林高校応接室	出席 状況	出席者5名
第2回	日時	平成26年12月24日 16:00～	場所	北部農林高校応接室	出席 状況	出席者4名
第3回	日時	平成27年3月20日 16:00～	場所	北部農林高校応接室	出席 状況	出席者3名

## 2 学校評議員に求めた事項

- ①開かれた特色ある学校づくりを推進するため、家庭や地域との連携を図り、生徒の健全育成に努めることについて
- ②基礎的・基本的な教育を重視し、個性を生かす教育について
- ③課題意識を常に持って、進路を主体的に選択できる能力と態度を育てることについて
- ④安全管理及び危機管理の実働的な体制について
- ⑤全日制・定時制の連携を密にし、学校運営の円滑化を図るとともに定時制課程の充実を図ることについて

## 2 学校評議員の意見

- ①4年生大学や農業大学校への進学が増えており、先生方の指導に感謝する。これからも継続的な指導をお願いしたい。
- ②身なり、あいさつ等の基本的生活習慣の定着を図るために忍耐強く指導してほしい。
- ③朝の10分間の取り組みについて、効果が出ているように感じる。先生方の頑張りに期待したい。
- ④体罰については、あってはならないことであり、先生方の共通理解のもと部活動や特別活動等を行ってほしい。
- ⑤自転車の登録は、良い方法である。自転車通学のマナーを徹底して教えてもらいたい。
- ⑥周辺地域で迷惑行為もあるようだが、独自の指導だけではなく、地域警察等へのパトロール協力の要請など連携してはどうか。
- ⑦発達障害などの特別な支援を必要とする生徒については、教師だけで理解・支援するのではなく、周辺の生徒にも福祉の心・奉仕の心を育てながら、支援体制をつくる必要がある。
- ⑧学校行事等において、保護者や地域の方々への積極的なPRと同窓OBの活用及び地域との連携を行ったらどうか。
- ⑨農業高校に進学する生徒は、学力だけではない。適切なほめ方で生徒は伸びる。褒めて伸ばす指導も必要である。
- ⑩身なり指導を徹底したことで、登校時、下校時の制服、身なりも改善されている。地域をまきこみながら継続した指導をお願いしたい。
- ⑪卒業式及び式後の生徒の行動は昨年と比べると素晴らしかった。学校として毅然とした態度で臨んだ結果だと思う。
- ⑫後援会が実施している奨学金、学習支援金の活用を進め、生徒の学習意欲を高めてほしい。
- ⑬地域との連携として地域行事への積極的な参加をしてほしい。体験的な学習を増やしてはどうか。
- ⑭農業の備品で故障した物がある。園芸工学科のバイオ室などのクーラーが台風で故障しているので早めの予算確保をしてほしい。

## 4 学校運営に反映した事項

- ①同窓OBを活用した進路指導講演会や教育実践交流会を実施した。
- ②進路指導部・担任・学科が連携し小論文指導、面接指導を実施した。
- ③北部地域のPTAと連携した夜間の合同パトロールの実施及び警察との定期的な情報交換やパトロールを実施した。
- ④各種講話(交通安全、薬物、平和、歯科衛生、進路など)を職員研修も含め積極的の実施することができた。
- ⑤イエローカードなどの取り組みで、身なり、マナー等が向上している。
- ⑥朝の学習の取り組みにより、学校生活の始まりに落ち着きが出てきた。また、基礎・基本を定着させ、学力の向上を図る取り組みのつなげる工夫をしている。
- ⑦進路講話等の機会を多く取り入れた外部講師等の活用による進路指導を実施できた。
- ⑧学園祭、生産物即売会等の行事における保護者、同窓会や地域青年会との連携ができた。

## 5 課題その他

- ①教育課程の研究や実践に努め、地域と共生する農業教育、地域に貢献する特色ある学校づくりの推進。
- ②基本的生活習慣の確立、学力向上の取り組みを強化。
- ③HR・各学年会・各学科・部活動等における系統的な進路指導の推進。
- ④父母や地域、評議員に対する学校の情報公開をさらにすすめ、連携を強化。